

富士・東部地域教育の様々な活動、情報等を掲載し、地域教育の「横の連携」と「縦の接続」を目指す富士・東部教育事務所が発行する情報紙です。



◇ [雲雀祭&授業見学会] ひばりが丘高等学校

ひばりが丘高校（薬袋秀樹校長）で第8回雲雀祭が、9月3日（月）・4日（火）の2日間の日程で行われました。3日は、創作授業の成果発表会、作品見学、クラスや年次・有志生徒による発表、4日は、生活体験文発表会、芸術鑑賞会という日程で行われました。

成果発表会では、夏休み前に実施した創作授業の4日間の内容が発表され、生活体験発表では、各生徒が夏休み明けに書いたものの中から、各クラスの代表者が自分のものを自身の言葉で発表していました。生徒たちはそれを自分の体験に重ね合わせながら真剣に聞き入っていました。

芸術鑑賞会は、今年度は国際交流の一環として、浅川伯教・巧兄弟資料館館長の講演のあと、映画「道一白磁の人」の上映に移りました。生徒は、真剣に作品を鑑賞していました。

また、中学生と保護者を対象に、学校説明会と授業見学会を別々の日に実施する形で、学校説明会が10月6日（土）に、授業見学会が10月15日（月）・18日（木）に行われました。授業見学会では、参加した中学生は実際の授業を見ることができ、緊張しながらも興味を持って参加していました。当日の授業は、パート別学習による少人数授業やチームティーチングによる学習指導など、生徒にきめ細かな授業を行っていました。

昼間部卒業年次
の生徒作品



浅川伯教・巧兄弟資料館館長の講演風景

◇ [2012 わかつるサイエンスフェスティバル in 都留高 SSH] 都留高校

都留高校（森屋政文校長）は、10月13日（土）、都留高等学校80周年記念館“鶴聲ホール”において「わかつるサイエンスフェスティバル」（北都留地域教育推進連絡協議会共催）を実施し、南・北都留地域の小学生・その保護者など70組153名が参加しました。（参加応募組数は、140組を超えていたため抽選となりました。）

この事業は、昨年度より「科学の祭典」から「わかつるサイエンスフェスティバル in 都留高SSH」へと名称が変わりました。次世代の日本を支える地域の子どもたちに『科学の不思議』『科学の面白さ、素晴らしさ』を体験してもらい、『科学への興味・関心』を高めてもらうことを大きな目標として企画された行事です。

生徒たちの進行による開祭式に続き、「CDでホバークラフトを作ろう」「手作り顕微鏡で細胞を観よう」「ほっかほか☆化学カイロを作ろう」の3分野に分かれたチャレンジブース、次いで、遊びの広場では、遊びながら科学を学ぼうのスローガンのもと、「飛ぶ種の模型を作ろう」「基石で遊ぼう」「ネオンブレスレットをつくろう」「メダカすくい」「化石をとりだそう」など14のコーナーが設けられ、同校のSSHの1・2年生や理科・数学の先生方が子どもたちに実験やものづくりを熱心に指導していました。

都留高校は、平成17年度から文部科学省より将来の国際的な科学技術系人材を育成することを目指し理数系教育に重点を置いたスーパーサイエンスハイスクール（SSH）の指定を受け、今年度で8年目を迎えました。22年度からは、文部科学省よりスーパーサイエンスハイスクールの継

続指定を受けております。今年度、SSH生徒研究発表会において全国で第2位、日本生物学オリンピックにおいても個人で全国第2位など、SSH校として大きく飛躍し、素晴らしい成果を上げております。



◇ [青い麦の子大会] 富士スバルランド森林公園 (ドギーパーク)

9月20日(木)に富士スバルランド森林公園(ドギーパーク)で、南都留地区特別支援学級担当者研究会主催の「青い麦の子大会」が行われました。南都留地区の小・中学生、教職員200名余りが参加しました。開会式は子どもたちの司会で進行し、参加32校(小学校23校、中学校9校)の児童生徒から元気いっぱいの自己紹介が行われました。ふれあい集会では、中学生が司会を担当して、ビンゴ、ゲーム、ダンスが行われ、大変に盛り上がり、学校を超えて子どもたちの親睦が図られていました。昼食後はドッグショーの見学、ドギーパーク内の見学・散策、買い物等をして楽しい時間を過ごしていました。



◇ [山梨県一日教育委員会 (教育懇談会)] 富士吉田市民会館

9月11日(火)に富士吉田市民会館で山梨県一日教育委員会(教育懇談会)が行われ、南・北都留の小中学校、高等学校、特別支援学校のPTA、市町村教育委員会関係者等108名の出席がありました。

小林 久教育委員長のあいさつの後、教育委員及び教育委員会事務局職員の紹介があり、事務局(瀧田武彦教育長)から「山梨県教育委員会平成24年度主要施策」の概要説明がなされました。その後、意見交換へと入り、参加者も熱心な質疑に耳を傾けていました。

内容等については、山梨県教育委員会富士・東部教育事務所のホームページに掲載してあります。

◇ [明日の風 アスリート実技講習会]

9月29日(土)、今年度3回目となるアスリート実技講習会(陸上競技記録会)が、都留市やまびこ陸上競技場で行われました。小中学生・一般合わせて60名程の参加があり、参加者は幅跳び、高跳び、400m走など多くの種目に出場して自分自身の記録を確かめていました。また、ヴァンフォーレ甲府のサッカー教室もありました。閉会式において、各種目の成績上位者(1位も2位も3位も)は、金色のメダルをもらい、笑顔で競技場を後にしました。

10月13日(土)、爽やかな秋晴れのなか、大月市営陸上競技場で今年度第4回となるアスリート実技講習会が行われました。全員でのウォーミングアップ、そして、フラフープを使ってのキック、けんけん跳びなどの基本練習からはじまり、幅跳び、ハードル、高跳びなどの種目に分かれて基本の動きと実践の指導が行われました。最後にリレーをして終了となりました。

